

高橋 晃

2004-2005年1年間の主な活動	活動内容	成果物など
ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム推進支援（2004年6月10日～2005年6月9日）	各種セミナー・研修・出版等の企画運営と、研究・教育への指導助言を行うとともに、プログラムの進行管理、評価、活動計画案作成等を支援した。	プログラム進捗報告書（英語版No.7, 8および日本語版No.8, 9）、中間評価自己評価書、セミナー報告書、ガイドブック等
高等植物の調査研究（2004年8月～2005年5月）	メリアウ山、クロッカー山、マリアウベイスンでの熱帯植物の調査と、サバ大演習林でアカシア林の生長解析を行った。	植物標本（約300点）、ウツボカズラ調査報告、樹木の生長データ収集
長期的生物調査の拠点作り（2004年11月～2005年6月）	クロッカー山において長期的な植物研究・生態研究ができるよう、拠点作りのを始めた。	事前調査報告、調査区設置計画書、ワークショップ計画等。第1号調査区イノボン調査区（0.25ha）を設置した。
学会誘致・開催（2004年12月）	サバ大との共催によりヒマラヤ植物研究会2004年度大会をサバ大で行った。学会員5名による公開セミナー及び写真展を実施した。	学会員その他サバ大スタッフ・学生など合計50名以上が参加。セミナー記録集への掲載
アジア地域の他研究機関とのネットワーク構築（2004年8月～2005年3月）	植物学関連ワークショップ等を通じて、サバ州内の研究機関はじめ、半島マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンの大学・研究所の研究者との交流を図った。	共同研究の計画、ワークショップ参加、標本交換、植物情報交換等
講義・実習（2004年9月、2005年3月～6月）	生態学研究法コース、多様性ワークショップ、永久調査区ワークショップおよび民俗生物学トレーニングコースで、多様性生物学・植物遺伝資源・植物生態学、永久調査区における森林調査法に関する講義と実習を行った。	サバ大学大学院生、他研究機関スタッフ・研究者など合計140名以上が参加。